

図書館だより

7月 図書館カレンダー

| 日  | 月 | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|---|----|----|----|----|----|
|    |   |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | ⑤ | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | ⑫ | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | ⑬ | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | ⑭ | 26 | 27 | 28 | 29 | ⑮  |

○印 休館日  
月曜日・月末館内整理日(30日)

七月七日は七夕です。今年も、図書館のロビーで、笹竹に短冊を結んでみませんか。

この頃の夏空には、よく輝く二つの星をながめることができます。この二つの星のことを歌った短歌が、「万葉集」には数十首読むことができます。

この夏、万葉集を紐解く一助にどうぞ来館ください。

今月の新刊図書案内

♥ 一般図書

略奪した文化 松本剛  
ライフサイクル 東京大学出版会  
哲学ってどんなこと? トマス・ネーゲル

新編古文書解説辞典

根岸茂夫ほか

市民のための政治学 石田雄  
こどもは手で考える 一色八郎  
毎日の食事のカロリー

ガイドブック 女子栄養大学  
この病気にこの粥膳 上村泰子  
かんたんママとこどもの手作り

ゆかた プティック社  
ディズニールランド裏舞台 青木卓  
実践アユ釣り教本 白石勝彦  
外九十九冊



♥ 児童図書

特派員からのメッセージ  
世界の祭り子ども日本編 全4  
海べのいきもの  
ぬーぼーの英語教本 全6  
まぐらのひみつ  
なっちゃんとおぼく  
手づくりのスケート靴  
リランとねこ  
モヒカン族の最後

つなわたりのおすきなねこ  
青い蓮(タンタンの冒険旅行14)  
外八十六冊

第39回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書をご利用ください。なお、これらの図書は、別表の一坪図書館や盛里地域コミュニティセンターにも備えてあります。

都留市一坪図書館

| 館長名   | 所在地       | 電話      | 開館日 | 開館時間    |
|-------|-----------|---------|-----|---------|
| 佐波佳子  | 上谷5-5-28  | 45-0080 | 日   | 9時~12時  |
| 佐藤泰道  | 大幡3,417   | 43-2095 | 日   | 8時~11時  |
| 八代直之  | 大幡1,541   | 43-3329 | 土   | 13時~15時 |
| 中江秀雄  | 金井294     | 43-2096 | 土   | 13時~16時 |
| 北村あや子 | 四日市場1,104 | 43-3579 | 日   | 16時~18時 |
| 平井貢   | 小形山694    | 43-8408 | 金   | 14時~16時 |
| 前田憲   | 与縄1,284   | 45-0207 | 土   | 14時~16時 |

♥ 課題図書

へ小学校低学年の部へ  
おみせやさん  
うちのなまくらさん  
子うしのハナベエ日記  
しまふくろう  
へ小学校高学年の部へ  
ボク、ただいまレンタル中にじ色のガラスびん  
森は呼んでいる  
動物園出前しましす  
へ中学校の部へ  
夏の庭  
真夜中の森で  
森林はなぜ必要か  
へ高等学校の部へ  
もうひとつの家族  
森の365日  
幻のオリンピック

心の健康シリーズ 3

善悪の判断の  
できる子に!!

いよいよ暑い夏がやって来ました。夏休みも近づき、夏休みは児童・生徒にとって楽しい休みであり、開放的な気分になる時でもあります。

青少年の非行は夏の季節が一番多いことが統計的にも示されています。この様なことから、学校等においては夏休みの事前指導を充分行い、非行のない、有意義な夏休みが過ごせる様配慮されています。子どもは、大きくなるに従い、当然活動範囲も広まり、人間関係も広まって来ます。そうした色々な人と出会い、多くの人と関係するなかで、多くのことを体験し、自分を高めて行くのです。

しかし、今の子どもは、多くのひととの交わりを好まず、或る特定の人との交わりであって、しかも連年令集団での遊びや行動があまりできていない様です。従って、経験豊かな先輩から後輩へと指導や伝達が行われず、地域の行事や子ども会活動は衰退の状況となっています。

子どもたちは、体験不足のまま成長し、物事の判断にも自信を欠き、時には誘惑や興味に負け、思わぬ非行や事件にまき込まれてしまっています。

まうことも多々あります。こうした時に自分を見つめ、正しい判断、行動のとれる人間を育成しておくことが大切です。

子どもをとりまく環境が必ずしも良い環境ばかりではない現状の中で子どもたちは色々の非行的刺激や興味をそそられています。その中で正しい善悪の判断、行動をとることは大変難しいことであり、強い意志が要求されることです。

よく「指示待つ子」という言葉が聞かれます。「お母さん、こういう時どうすればいいの」、「お父さん、これ、どうしたらいい」つまり、どんなことでも親や先生に聞いて判断させ、その指示に従って行動するタイプです。こうすると、自分で考え判断しなくてすむし、責任をとらなくてよいからです。

こんな子どもが大きくなったなら自主性も判断力も劣る人間社会となってしまうそうです。ぜひ、そうならないために家庭においては、多くの体験を通して責任と強い意志を鍛える様、心がけると共に子どもにとって楽しい家庭であり、家族の連帯感が強い固なものであることが重要です。

家族が強く結ばれた子どもは決して非行はないし、善悪の正しい判断、行動のできる子どもに成長していきます。